



鹿保協発 21-01 号
2021 年 4 月 27 日

鹿児島県知事
塩田 康一 様

子ども医療費助成制度に「現物給付方式」を求める要望書

鹿児島県保険医協会
会長 高岡 茂



貴職におかれましては、県民の健康増進のため、ご尽力しておられることに敬意を表します。当会は、1,252 名の医師、歯科医師の団体として、県民の健康向上のための様々な活動に取り組んでいる団体でございます。

さて、鹿児島県の子ども医療費助成制度が、4 月から住民税非課税世帯の高校生まで窓口負担無料が拡充されたことは、我々も大変喜ばしく、塩田知事が掲げる「子育て世代が安心して子育てができる環境整備を推進します。」の公約が、速やかに実行されているものとして今後も、大いに期待している次第でございます。

子ども医療費助成制度は、子育て期にある家庭において、子どもの医療費の経済的負担を軽減することで、未来の鹿児島県を担う子供の健康の保持増進を守る上で欠かせない制度です。鹿児島県議会では、平成 27 年 6 月 26 日に、乳幼児医療費助成制度など地方単独の医療費助成制度に対する国保の国庫負担減額措置を早急に見直すよう意見書を提出され、その甲斐もあって、一部ではありますが、平成 30 年度に、未就学児に対する減額措置が見直されました。

しかしながら、当県では、意見書を提出し、見直しを求め、見直されたにも関わらず、受診時に窓口負担を必要とする償還払い制度を採用し続けております。九州・沖縄においては、鹿児島県だけが未だに償還払いです。子供が、昼夜を問わず、いざ、受診が必要となった時に、所持金を心配し、目の前に苦しむ子供の受診が遅れることは、安心して子育てができる環境とは言えないと危惧しております。

つきましては、鹿児島県子ども医療費助成制度におきましても、全ての対象世帯に「現物給付方式」を採用していただきたく、お願いさせていただきます。

また、今回の要望に関しまして、直接、お願いさせていただく機会を設けていただければ幸いに存じます。

鹿児島県の明日を担う子ども達を安心して子育てが出来るよりよい鹿児島県となるよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

この件に関するお問い合わせ先
鹿児島県保険医協会
事務局 福元、宇多津
TEL099-254-8662
FAX099-254-8667